

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城	地区名	名鱈
-----	-------------	-------	----	-----	----

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,342,256 千円	
当該事業による費用		961,861 千円	
その他費用		380,395 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		1,986,312 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.47	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	51,133 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，小麦，六条大麦，イタリアライグラス，ホールクロープサイレージ，ほうれんそう
営農経費節減効果	57,728 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，小麦，六条大麦，イタリアライグラス，ホールクロープサイレージ，ほうれんそう
維持管理費節減効果	-1,630 千円	農道や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道，用水路，揚水機場，排水路，排水機場
耕作放棄防止効果	10 千円	農地や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量の効果
計	107,241 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城	地区名	千刈江
-----	-------------	-------	----	-----	-----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,099,297 千円	
当該事業による費用		1,049,360 千円	
その他費用		1,049,937 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,728,903 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.29	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	55,370 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，えだまめ，白菜，ねぎ，なす
営農経費節減効果	95,180 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，えだまめ，白菜，ねぎ，なす
維持管理費節減効果	-723 千円	農道や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道，用水路，揚水機場，頭首工，排水路
耕作放棄防止効果	5 千円	農地や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量の効果
計	149,832 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城	地区名	鹿又
-----	-------------	-------	----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	8,049,673 千円	
当該事業による費用		5,414,261 千円	
その他費用		2,635,412 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		10,433,062 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.29	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	257,560 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，白菜，ばれいしょ，キャベツ，大根
営農経費節減効果	328,566 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，白菜，ばれいしょ，キャベツ，大根
維持管理費節減効果	373 千円	農道や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道，用水路，揚水機場，排水路，排水機場
耕作放棄防止効果	9 千円	農地や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量の効果
計	586,508 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城	地区名	広瀬沼
-----	-------------	-------	----	-----	-----

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	8,127,349 千円	
当該事業による費用		6,199,298 千円	
その他費用		1,928,051 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		11,981,855 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.47	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	306,409 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，白菜，大根，キャベツ，スイートコーン
営農経費節減効果	395,074 千円	農地や用排水施設，暗渠排水の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲，大豆，白菜，大根，キャベツ，スイートコーン
維持管理費節減効果	-29,000 千円	農道や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農道，用水路，揚水機場，排水路，排水機場
耕作放棄防止効果	20 千円	農地や用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量の効果
計	672,503 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山形	地区名	こうずく
-----	-------------	-------	----	-----	------

１．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,541,444 千円	
当該事業による費用		1,256,114 千円	
その他費用		285,330 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		45 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		1,866,331 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.21	

２．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	48,290 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、えだまめ等
営農経費節減効果	53,376 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆、えだまめ等
維持管理費節減効果	3,076 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水路、農道
耕作放棄地防止効果	192 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄地による農作物生産量が増加する効果
計	98,782 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業（面的集積型）	都道府県名	福島県	地区名	飯崎
-----	--------------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	1,371,781 千円	
当該事業による費用		1,032,988 千円	
その他費用		338,793 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		1,675,297 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.22	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	37,296 千円	受益地内において発生するとみなされる作物生産の量的増減を捉える効果
営農経費節減効果	47,376 千円	現況の営農技術体系、経営規模等が変化することに伴って、作物生産に要する費用が増減する効果
維持管理費節減効果	718 千円	土地改良施設の改良・新設に伴って維持管理経費が増減する効果
耕作放棄地防止効果	31 千円	土地改良施設の更新に伴って耕作放棄地の発生が防止され、これにより作物生産や多面的機能が維持される効果
農業労働環境改善効果	3,102 千円	営農機械体系や、維持管理方法等の改善が図られることにより、農作業環境が変化し、営農に係る労働が質的に改善される効果
計	88,523 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	益子西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,546,863 千円	
当該事業による費用		1,284,492 千円	
その他費用		1,262,371 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		3,123,573 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.22	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	53,801 千円	水管理の合理化、転作作物の面積拡大、単収増 対象作物：水稲、小麦、大豆、にら、そば など
営農経費節減効果	79,732 千円	大区画化による労働時間短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、にら、そば など
営農に係る走行経費節減効果	10,816 千円	農業輸送や通作に係る車両経費の節減
維持管理費節減効果	6,128 千円	施設の新設、改修等による維持管理費の増減 対象施設：農業用排水路、農道
耕作放棄防止効果	153 千円	耕作放棄地の発生防止に伴う作物生産の増減
農業労働環境改善効果	14,543 千円	労働条件の質的改善に対する支払意志額により算定
地籍確定効果	2,110 千円	区画整理、換地により地籍が明確になる効果
景観・環境保全効果	2,432 千円	環境に配慮した施設等に対する地域住民等の支払意志額により算定 対象施設：農業用排水路
計	169,715 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業 (一般型)	都道府県名	新潟県	地区名	巻東町
-----	----------------------	-------	-----	-----	-----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,291,080 千円	
当該事業による費用		951,283 千円	
その他費用		1,339,797 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,590,950 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.13	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	47,633 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合の農作物生産量が増減する効果。対象作物：水稻
営農経費節減効果	58,941 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果。対象作物：水稻
維持管理費節減効果	4,636 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合の維持管理費が増減する効果。対象施設：用水路
耕作放棄防止効果	2 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での耕作放棄地が減少する効果
災害防止効果（農業）	7,946 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合の災害が軽減防止される効果。対象作物：水稻
農業労働環境改善効果	3,046 千円	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業労働環境が改善する効果
災害防止効果（一般資産）	19,548 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
地籍確定効果	601 千円	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査費用が軽減する効果
計	133,081 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業 (一般型)	都道府県名	新潟県	地区名	長所
-----	----------------------	-------	-----	-----	----

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	= +	2,606,100 千円	
当該事業による費用		1,378,583 千円	
その他費用		1,227,517 千円	関連事業費 + 資産価額 + 再整備費
評価期間		46 年	当該事業の工事期間 + 40 年
総便益額（現在価値化）		2,906,591 千円	
総費用総便益比	= ÷	1.11	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	89,406 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆
営農経費節減効果	1,446 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆
維持管理費節減効果	5,191 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：水路
災害防止効果（農業）	13,640 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果 対象作物：水稲
災害防止効果（一般資産）	33,551 千円	用排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害が軽減防止される効果
地域用水効果	6,372 千円	水路を防火用水及び消流雪水として利用している効果を算定
計	139,224 千円	